

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 自家間葉系幹細胞と内皮コロニー形成細胞を用いた  
次世代三次元人工脈管グラフトの確立

### 研究の目的

近年、ヒトの細胞を使って人工的に作った組織(三次元人工組織)の基礎医学研究が、臨床での再生医療実現を目指して精力的に行われています。この中で、患者さん自身が持つ細胞から作った三次元人工組織の移植は、拒絶反応の心配がないことなどから有効な治療法として期待されています。この三次元人工組織に血管網を組み込むと、血管が失われた体の部位に新たな血流を与えることができるため、四肢、脳、心臓などで起こる様々な虚血性疾患(血流が途絶えることによる疾患)の治療が可能になります。

今回は、血液に含まれることが明らかになった血管の壁の元になる特別な細胞(内皮コロニー形成細胞)を培養後、三次元人工組織に組み込んで血管を形成させた「次世代三次元人工脈管グラフト」を作製し、これを用いた再生医療の研究を行います。このため、以前皆様から医療用に採取し、既に目的を終えた貴重な血液由来幹細胞のサンプルを使用させていただき、上記研究の遂行に役立てて参ります。

**研究実施期間：** 2022年 4月15日 ～ 2026年 3月31日  
(倫理委員会承認日)

**対象となる方：** 1992年～2012年12月31日までの間、当院において造血管悪性腫瘍・固形腫瘍の治療目的で幹細胞を採取・保存した患者様で、幹細胞が未使用(廃棄該当)になった方

### 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院輸血部において凍結保存された末梢血幹細胞の使用について、標記研究課題実施のために利用します。具体的には、凍結保存された末梢血幹細胞(各30～50ml)を適切な方法で解凍し、内皮コロニー形成細胞の分離培養と人工脈管組織の構築、およびこれを用いた再生医療に関する基礎医学研究を行います。この際、当院のカルテに記録されている情報のうち性別、採取時年齢、疾患名、採取時に近い時期の血液検査データも使用します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

<b>本件連絡先</b>	神経解剖・細胞組織学講座・浅野義哉 連絡先電話番号 0172-39-5002 / メールアドレス asanoy@hirosaki-u.ac.jp
--------------	---